

平成 29 年度 小 牧 市 民 健 康 づ く り 事 業 実 績

1 成人保健

(1) 乳がん個別検診（マンモグラフィ検査）事業

新規

概要：医療機関での個別検診を実施し、受診しやすい環境を整え、
受診率の向上を図りました。

受診機会：2年に1回（国の指針のとおり）

実施医療機関：1医療機関（みわレディースクリニック）

(2) 健診・検診デー

新規

ア 概要

- ・ 目 的 同日に複数の検診が受診できるように受診環境を整え、受診率向上を図る。
- ・ 実施日 平成 29 年 9 月 9 日（土）
- ・ 検診種類 胃がん検診、大腸がん検診、乳がんマンモグラフィ検査、乳がん超音波検査、子宮頸がん検診、ヤング健診
- ・ 健康教育 乳がん自己検診法指導

イ 健診・検診デーのヤング健診、各種がん検診受診者数

胃がん	大腸がん	乳がん マンモグラフィ	乳がん 超音波	子宮 頸がん	ヤング 健診
38人	101人	106人	90人	100人	49人

ウ 重複検診受診者数

年代	性別	ヤング 健診	胃がん 検診	大腸がん 検診	乳がん (マンモグラフィ)	乳がん (超音波)	子宮 頸がん	受診者数 (人)
30代	男	●	●	●				3
	女	●				●		1 2
		●				●	●	5
		●	●	●		●		1
						●	●	2 4
			●	●		●	●	3
			●	●		●		4
40代	女				●		●	1 3
			●	●	●			1
			●	●	●		●	1
				●	●		●	1
50代	女				●		●	6
			●	●	●		●	2
60代	女				●		●	1 0
			●	●	●		●	1
			●	●			●	1
70代	女				●		●	3

(3) 健康診査事業及び各種がん検診

継続

ア 人間ドック受診者数の推移

年度	人間ドック(人)
29	6,814
28	6,612
27	6,144
26	4,874

イ 受診者数及び受診率（国の指針に準ずる）

年 度		胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮がん
29	受診数(人)	8,185	12,264	12,878	2,109	2,119
	受診率(%)	21.0	31.4	33.0	8.8	7.1
28	受診数(人)	8,222	12,177	12,712	2,029	1,474
	受診率(%)	22.9	34.0	35.5	9.0	4.9
27	受診数(人)	8,198	12,465	12,880	2,065	1,728
	受診率(%)	22.9	34.8	35.9	9.1	5.7

※受診率の算出方法

国勢調査人口より分母を算出

推定対象者数＝人口－（就業者数－農林水産業従事者数）

ウ 女性特有のがん検診事業

継続

(人)

年 度	乳がん検診（マンモグラフィ）			子宮がん検診		
	集団（実施回数）	個別（医療機関）	合計	集団（実施回数）	個別（医療機関）	合計
29	1,186(14)	923(1)	2,109	311(4)	1,808(6)	2,119
28	2,029(20)	—	2,029	280(6)	1,194(6)	1,474
27	2,065(18)	—	2,065	336(6)	1,392(6)	1,728

※ H29年度における子宮がん検診の受診者数の増加は、乳がん個別検診を開始したこと
から、子宮がん検診と同時に検診が可能となり子宮がん受診者の増加につながったと考
える。

2 母子保健

(1) 乳幼児健診事業

継続

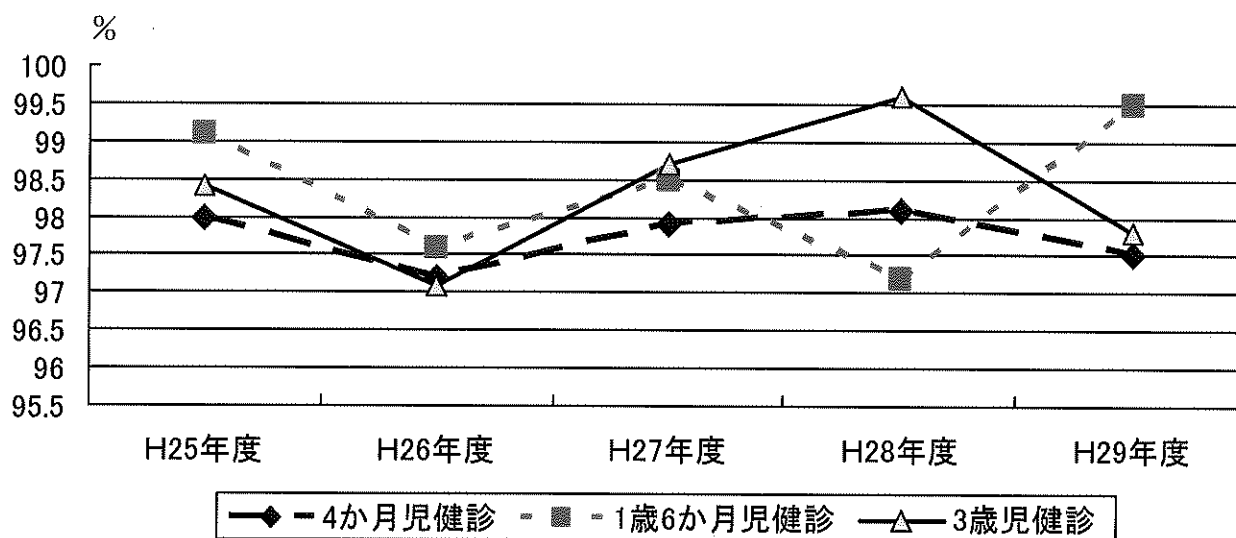
ア 目的

乳幼児の発育・発達を確認し、疾病等を早期発見し適切な治療や支
援に結びつける。また、保護者の育児の心配や疑問等に対して相談等
の育児支援を行う。

イ 乳幼児健診受診率 (%)

区分	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
4か月児健診 (年48回)	98.0	97.2	97.9	98.1	97.5
1歳6か月児健診 (年36回)	99.1	97.6	98.5	97.2	99.5
3歳児健診 (年36回)	98.4	97.1	98.7	99.6	97.8

年次推移グラフ



ウ 未受診児支援

近年、乳幼児健診未受診児への支援が虐待の予防・早期発見にも有効と言われ、その重要性が言われている。小牧市でも平成24年10月より未受診児の支援体制を見直し、各乳幼児健診において積極的な受診勧奨に努め、未受診者の状況把握に努めてきた。

エ 未受診児の把握・支援体制の流れ(参考資料1参照)

オ 平成29年度乳幼児健診対象者のうち状況未把握者数：0人
(平成30年7月1日現在)

(2) 不妊不育治療等助成事業

拡充

ア 目的及び効果

不妊症及び不育症に悩む夫婦に対し、不妊治療及び不育治療に要する費用の一部を助成し、その経済的な負担の軽減を図り、安心して治療できる環境を整える。

※不育症とは、妊娠してもその後流産や死産等を繰り返し、出産に至らない状態をいう。

イ 事業概要

・不妊治療等補助金

不妊症についての検査及び治療を受けられたご夫婦に対し、医療費（保険適用、保険適用外）を助成する。

【補助額】年度につき上限 5 万円、補助期間 24 ヶ月）

・不育症治療等補助金

不育症についての検査及び治療を受けられたご夫婦に対し、保険適用外の医療費を助成する。

【補助額】1 治療期間につき上限 15 万円、通算 5 回

ウ 実績

- ・不妊治療等補助金（119 組に助成、うち 27 組妊娠成立）
- ・不育症治療等補助金（2 組に助成、うち 2 組出産に至る）

(3) 性に関する問題遭遇時の支援体制について

「平成 29 年度中学生の生と性に関するアンケートの実施について」

ア 目的

- ・中学生の性に関する問題遭遇時の実態を把握する。
- ・アンケートの実施を通して、性に関する問題遭遇時には信頼できる大人や相談機関に相談することを伝えていく。
- ・思春期の子どもたちの性に関する問題遭遇時の支援体制を整備する。

イ 対象

市内 9 校の中学校 2 年生の全生徒

（対象 1,409 名、回収 1,314 名、回収率 93.3%）

ウ 結果（抜粋）

中学生への結果報告

…参考資料 2

保護者への結果報告

…参考資料 3

エ 支援体制に関する内容

・安心相談カードの配布時期

安心相談カードは、思春期の子どもたちが悩んだ時に、信頼できる相談先を紹介し、必要時に相談ができるように相談方法や電話番号等が記載されているカードで、市内の中学校・高校1年生全員に配布している。

平成30年度までは、夏休み前に配布をしたが、夏休み前は、学校の配布物が多く、カードの説明も時間が取れないこともあるため、4月末に配布できるようにする。4月末の利点、新入生として入学し、緊張疲れが出てくる5月あたりカードの情報があれば役に立つと意見があり、平成31年度から4月末の配布に向けて調整していく。

・思春期によくある質問 Q&A（小牧市ホームページ）の見直し

ホームページに、女の子の質問、男の子の質問、男女共通の質問というカテゴリーで掲載している。近年、性的少数者の配慮が言われていることから、どのように掲載をしていくとよいか。今後の課題である。母子保健推進協議会で協議をしていく。

3 予防接種

（1）予防接種助成制度

新規

特別な理由による定期予防接種の再接種費用の助成事業

平成30年2月1日から骨髄移植手術その他の理由により、定期予防接種で受けたワクチンの予防効果が期待できないと医師に判断され、任意で予防接種を再接種する市民の方に対し、再接種の費用を助成することにより、経済的負担の軽減及び感染症予防を図った。

ア 事業概要

・対象者は以下のすべてに該当する方

- ① 骨髄移植手術などにより、接種済みの定期予防接種の予防効果が期待できないと主治医に判断された方
- ② 市内に住民登録のある方
- ③ 再接種時に次の年齢に達するまでの方

BCG	肺炎球菌ワクチン	ヒブワクチン	四種混合	その他
4歳	6歳	10歳	15歳	20歳

イ 対象となる予防接種は、再接種前に申請をしたものが対象。

ウ 助成金額は、予防接種に要した費用（ただし、小牧市医師会との契約金額を上限）

エ 実績 H29年度は、無し

(2) 予防接種の接種勧奨通知

継続

定期予防接種の対象年齢に達した時点で個別に予診票等の通知を送付しているが、定期接種の期限が切れてしまう前に未接種者に対し、勧奨の通知を送付して、接種率の向上を図った。

	接種対象年齢	勧奨通知の送付時期	29年度 接種率 (%)
BCG及び B型肝炎	1歳未満	生後8か月の時点 の未接種者	BCG 98.7
			B型肝炎 (3回終了者) 98.8
水痘	1歳から 3歳未満	2歳6か月の時点 の未接種者	(2回終了者) 81.2
二種混合	11歳から 13歳未満	12歳の時点の 未接種者	72.9

4 歯科保健事業

(1) 妊婦個別歯科健康診査 新規

ア 目的及び効果

妊娠中は、歯牙・歯周疾患が進行しやすいため、妊婦の健康管理の充実及び経済的負担の軽減を目的に、これまでの集団健診に加え、妊婦の歯科健康診査を身近な歯科医院で個別に受診する環境を整え、早期発見・早期治療を図り、安心・安全な出産につなげることを目的とする。

イ 事業概要

妊娠中に指定医療機関において、無料で歯周疾患健診をはじめとした歯科健診を1回受けることができる妊婦歯科健康診査を実施する。

ウ 実績

項目 年度	受診者 数	未処置歯		歯肉出血		
		なし	なし	なし	あり	その他
平成29年 度	306人	186人 (60.8%)	120人 (39.2%)	123人 (40.2%)	183人 (59.8%)	0人(0%)

項目 年度	歯周ポケット			総合判定		
	なし	浅い ポケット	深い ポケット	異常なし	要指導	要精検
平成29年 度	110人 (35.9%)	150人 (49.0%)	46人 (15.0%)	28人 (9.2%)	56人 (18.3%)	222人 (72.5%)

■ 受診者数の比較（対象者数：妊娠届出者数 1,171人）

- ・平成29年度妊婦個別歯科健診受診者数 306人（26.1%）
- ・平成29年成人歯科健診を受診の妊婦 34人（2.9%）

集団健診と比較すると、受診率に大幅な伸びが見られた。

※参考 平成28年度成人歯科健診（集団）実績 168人（13%）

(2) 4か月児母親歯科健診

継続

ア 目的及び効果

妊娠中から産後にかけて、生活スタイル変化やホルモンバランスの影響に伴い、歯周疾患に罹患する割合が急増するため、産婦の健康管理

の一環として4か月児健診にあわせた保護者の歯科健診を実施し、歯科疾患の早期発見・早期治療につなげることを目的とする。

イ 4か月児母親歯科健診受診状況（年48回実施）

年度	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	未処置歯(人)		歯周ポケット(人)			歯肉出血(人)		総合判定(人)		
				なし	あり	なし	浅い	深い	なし	あり	異常なし	要指導	要治療
H29	1,217	1,142	93.8	694	448	819	308	15	641	501	230	278	634

(3) 乳幼児歯科健康診査

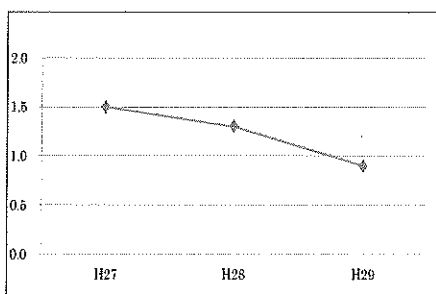
継続

年度	1歳6か月児					2歳3か月児					3歳児								
	対象児	受診者数	う蝕なし		う蝕あり	対象児	受診者数	う蝕なし	う蝕あり				対象児	受診者数	う蝕なし	う蝕あり			
			O1	O2					A	B	C1	C2				A	B	C1	C2
H29	1,181	1,175	481	683	11	1,290	1,122	1,089	28	3	0	2	1,405	1,373	1,250	87	32	0	4
H28	1,377	1,338	532	789	17	1,399	1,203	1,161	32	8	0	2	1,366	1,362	1,225	86	45	0	6

【乳幼児歯科健診う蝕罹患率の推移】

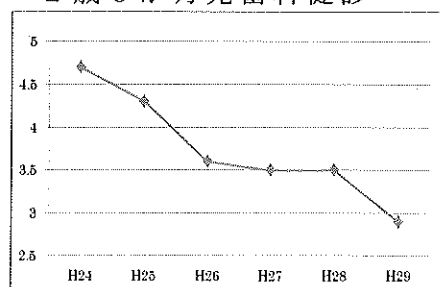
グラフ1

1歳6か月児歯科健診



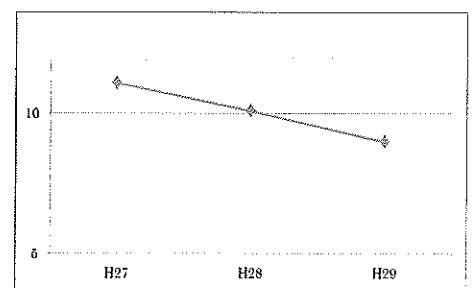
グラフ2

2歳3か月児歯科健診



グラフ3

3歳児歯科健診



(4) 成人歯科健診

継続

	回数	受診者数 (人)	未処置歯(人)			歯周ポケット(人)			歯肉出血(人)			総合判定(人)		
			なし	あり	なし	浅い	深い	その他	なし	あり	その他	異常なし	要指導	要治療
H29	12	183	125	58	73	84	25	1	75	107	1	27	21	135

(5) 歯周病予防個別健診

継続

年度	受診者数(人)	未処置歯(人)		歯周ポケット(人)			歯肉出血(人)		総合判定(人)		
		なし	あり	なし	浅い	深い	なし	あり	異常なし	要指導	要治療
H29	78	51	27	34	29	15	32	46	11	12	55

(6) いきいき世代個別歯科健診

継続

年度	受診者数(人)	未処置歯(人)		歯周ポケット(人)				歯肉出血(人)			総合判定(人)		
		なし	あり	なし	浅い	深い	その他	なし	あり	その他	異常なし	要指導	要治療
H29	734	473	261	244	283	206	1	263	470	1	43	118	573

5 健康づくり事業

(1) 健康いきいきポイント事業

ア 子ども版健康いきいきポイント事業(対象:小学生)

新規

夏休みを利用して、健康づくりの個人目標を設定し、達成できたらポイントを付与します。また家族で取り組むことでさらにポイントを付与します。

☆チャレンジ項目の実践により獲得したポイントは、記念品に交換でき

ます。

チャレンジ期間	チャレンジ項目	まいか交付者数
平成 29 年 7 月 21 日 ～ 平成 29 年 8 月 31 日	健康目標チャレンジ (早寝・早起き、朝ごはん、歯みがき、 運動) おうちの人と一緒にチャレンジ	48 人

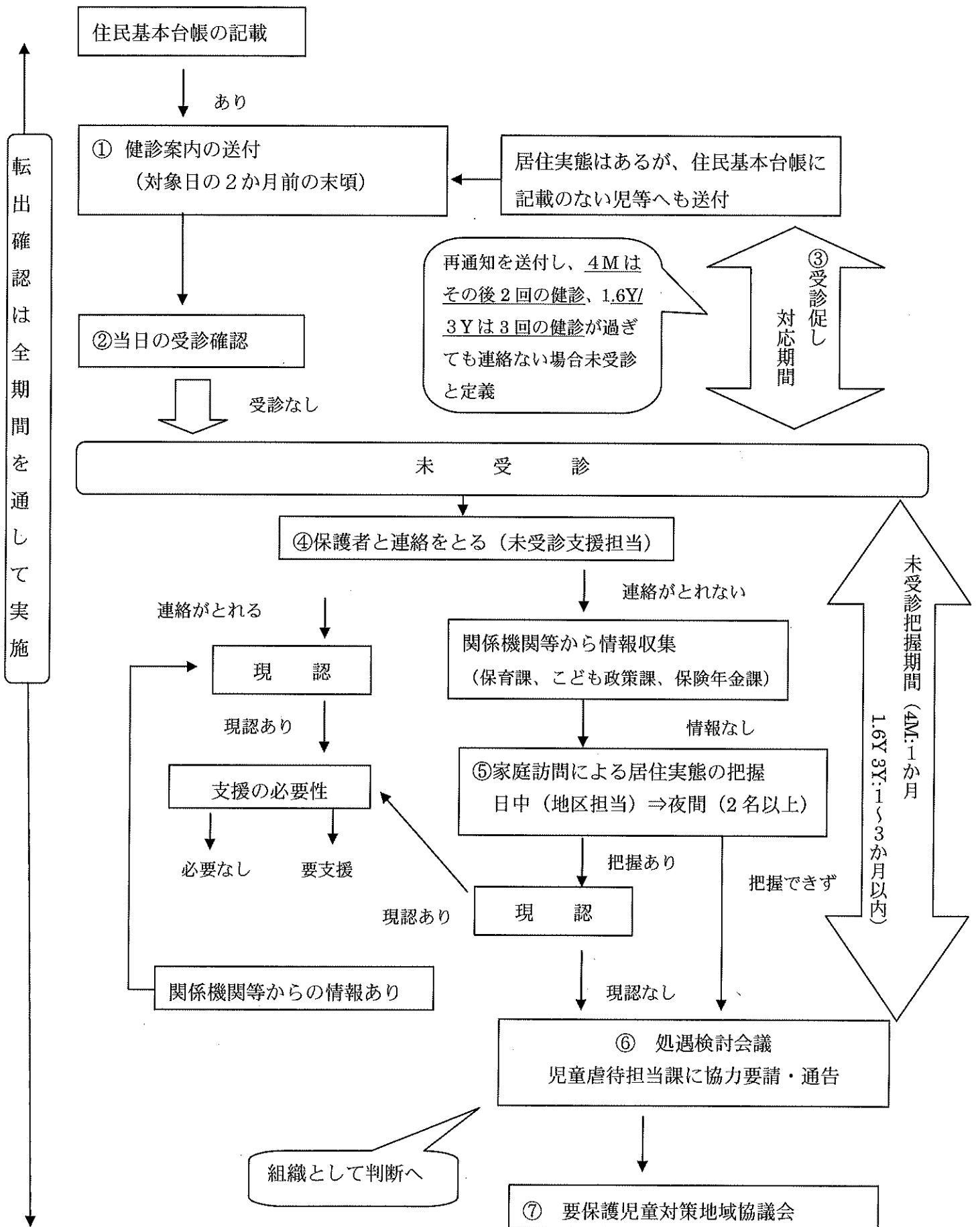
イ 小牧市スマートフォン用ウォーキングアプリ「alko」
拡充

楽しく、継続的にウォーキングに取り組んでもらうことを目的とした機能強化を行い、9つのチャレンジを実施しました。

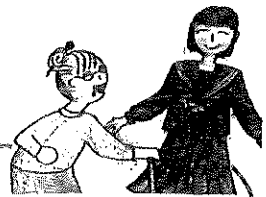
チャレンジ名	参加者数	達成者数
バーチャルウォーキングチャレンジ外8チャレンジ	7,829	4,457

alko 各種チャレンジで獲得したポイントの合計に応じて、地域限定商品券と交換しました。

2,000 ポイント交換者	335 人
1,000 ポイント交換者	268 人



市のホームページを参考にしてください！



アンケートの自由意見からも、心配なことの具体的な内容が見えてきました。その内容は、「勉強・進路のこと」や「友人関係」、「体の成長」や「体型」についてが主なものでした。特に友人関係は、スマートフォンの普及により、以前より複雑になっている様子が伺えました。過去に小牧市内の中学2年生に実施してきたアンケートの結果から、子どもたちの心配事の中から代表的なものをいくつかを取り上げて、小牧市ホームページに「思春期によくあるQ&A」として掲載しておりますので、参考にしてください。

小牧市ホームページ <http://www.city.komaki.aichi.jp>

小牧市公式ホームページ>市民の方へ>子育て・教育・青少年活動>思春期相談>思春期によくある質問
小牧市ホームページ「思春期によくある質問Q&A」のQRコードはこちら



【女の子の質問】

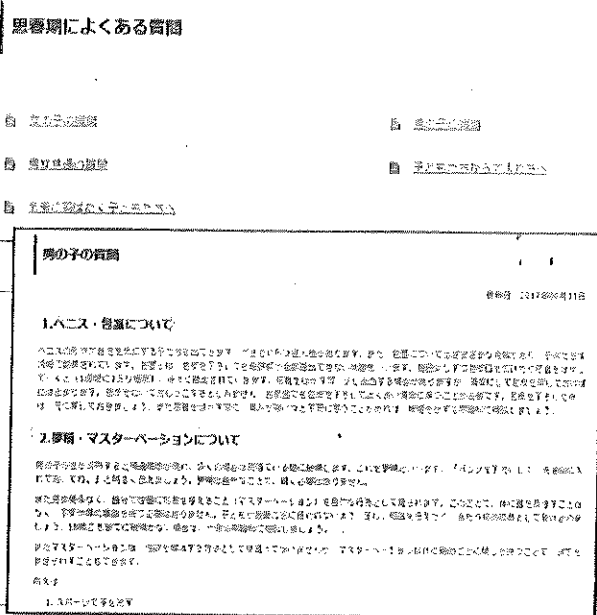
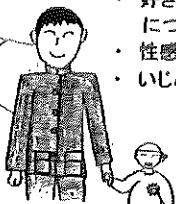
- ・ 胸の大きさが左右違う、胸が痛い
- ・ 生理が不順である、生理痛がひどい
- ・ 生理がまだこない
- ・ 太っている

【男の子の質問】

- ・ ペニス、包茎について
- ・ 夢精、マスターベーションについて
- ・ 性的衝動について
- ・ 胸が痛い

【男女共通の質問】

- ・ 赤ちゃんはどうやって生まれてくるの？
- ・ 友達との接し方
- ・ 好きな人のこと、異性との付き合い方について
- ・ 性感染症、避妊について
- ・ いじめについて



「中学生と小学生のための相談窓口」を知っていますか？

自分や身近な友達について心配なことがあった時に、信頼して相談できる窓口をお子さんたちに知っていただくために、中学1年生の夏休み前に、学校でお子さんたちに配布しています。

保護者が相談できる窓口もあります。小牧市ホームページに「中学生と小学生のための相談窓口」として掲載しておりますので、参考にしてください！

● 子どもたちが求めている大人たちの姿 (過去のアンケートの自由意見から)

- ①信頼できること
- ②まずは自分自身を受け入れて、理解してくれること
- ③頭から否定しないこと
- ④相談しやすい雰囲気や受け答え

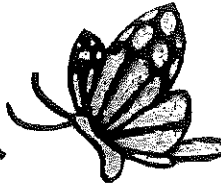
この時期の子どもたちと上手く距離をとって関わっていくことが難しいと感じることはありませんか？



挿絵: 応時中学校ジュニア奉仕団

問合せ 小牧市保健センター (0568)75-6471

中学3年生の保護者のみなさまへ



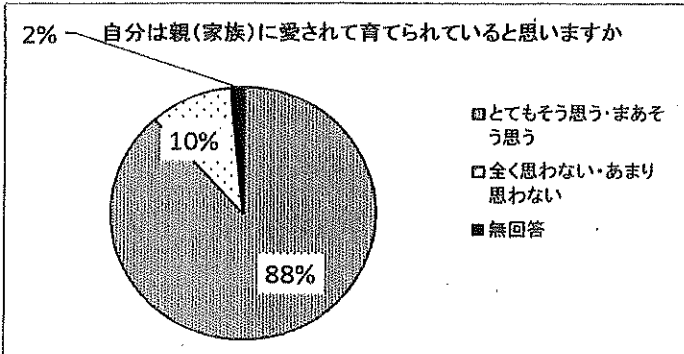
～母子保健推進協議会とは～

平成9年に設立され、学校や医療、福祉、保健などの分野で、子どもたちを応援する関係者で構成されています。そこでは、子どもたちの健やかな成長に必要な支援のあり方を考えています。

平成29年7月、小牧市内中学2年生(1,341人)にアンケートにご協力いただきました。結果がまとまりましたので、報告します。～小牧市母子保健推進協議会～

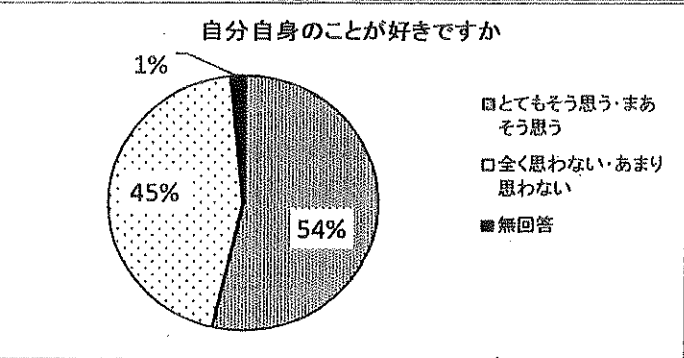
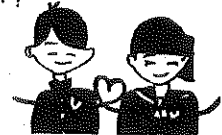
Q 愛されて育てられたと思いますか・・・？

～この質問に、あなたのお子さんは、どのように答えたと思いますか？



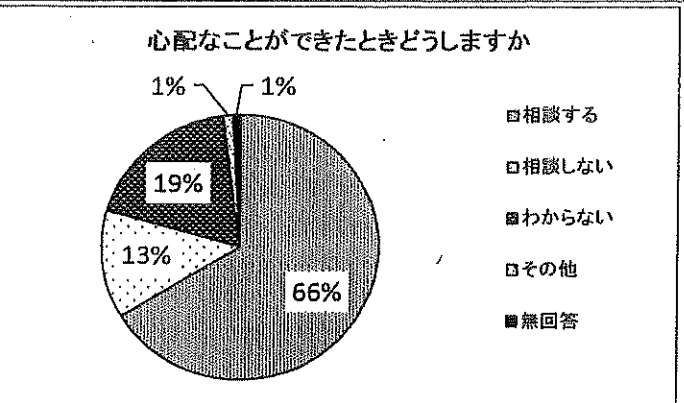
●10人に1人!多い?少ない?

自分は親(家族)に「愛されて育てられていると思わない」と回答した生徒がおよそ10人に1人いました。この数字を、あなたはどのように思いますか？
愛して育ててきたはずのわが子・・・
中学3年生のわが子に、今あなたは何を伝えたいですか？
どのように、「愛」を伝えていきますか？



●およそ2人に1人が自分のことが好きと思わない!

自分のいいところも悪いところも全てひっくるめて自分・・・そんな自分を肯定的に受け止め「自分が好き」といえる気持ちを「自己肯定感」といいます。
思春期であることを考えると、自分自身のことを素直に好きということが難しい時期であるかもしれません。
前述の「親に愛されて育てられたと思うか」の設問に対して「思う」と回答した生徒ほど、自分のことが好きと回答している割合が多い結果も出ています。



●心配なことは「誰かに相談する」のは、3人に2人!

逆に、3人に1人が「誰にも相談しない」「わからない」と、回答しています。また、「誰かに相談する」と回答した生徒に、相談相手を尋ねたところ、
①「同年代の友達(623人)」、②「母親(557人)」、③「父親(198人)」という結果でした。
今回の結果からは、同年代の友達に、面と向かって相談できているかまではわかりません。
また、少数回答ですが、SNSなどで出会った人やインターネットの相談コーナーと回答している生徒もいました。



★その他にも・・・、「朝食を毎日食べる生徒」、「心配なことができた時身近な大人に相談すると回答している生徒」ほど、「愛されて育てられたと感じる」「自分自身のことが好き」「自分を大切にしている」との傾向が見られました。また、「スマートフォン等の使用時間」が「就寝時間」に大きく影響していること、「スマートフォン等の使用時間」が「スマートフォンによるトラブルの有無」に大きく影響していることがわかりました。

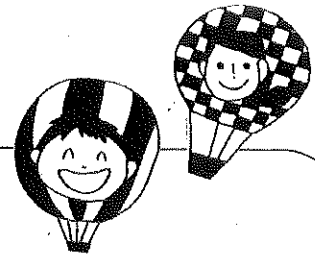
わが子に、何ができるでしょうか？

毎日ご飯を食べさせること・・・、子どもの話に耳を傾けること・・・、「がんばってるね」などの肯定的な言葉をかけること・・・、親子の何気ない毎日が、子どものゆるぎない自己肯定感を育てます。

参考にしてください

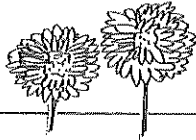
☆思春期によくある質問Q&A (小牧市ホームページ)

インターネットは手軽に検索でき、とても便利です。しかし、中には正しくない情報もあります。信頼できるサイトにアクセスすることが大切です。小牧市のホームページには「思春期によくある質問Q&A」が掲載されています。ぜひ参考にしてください。



小牧市ホームページ <http://www.city.komaki.aichi.jp>

小牧市公式ホームページ > 市民の方へ > 子育て・教育・青少年活動 > 思春期相談 > 思春期によくある質問



小牧市ホームページ「思春期によくある質問Q&A」のQRコードはこちら ⇒



【女の子の質問】

- ・ 胸の大きさが左右違う、胸が痛い
- ・ 生理が不順である、生理痛がひどい
- ・ 生理がまだこない
- ・ 太っている

【男の子の質問】

- ・ ペニス、包茎について
- ・ 夢精、マスターベーションについて
- ・ 性的衝動について
- ・ 胸が痛い

【男女共通の質問】

- ・ 赤ちゃんはどうやって生まれてくるの？
- ・ 友達との接し方
- ・ 好きな人のこと、異性との付き合い方について
- ・ 性感染症、避妊について
- ・ いじめについて



思春期によくある質問

- 女の子の質問
 - 胸の大きさが左右違う
 - 生理が不順である
 - 生理がまだこない
 - 太っている
- 男の子の質問
 - ペニス、包茎について
 - 夢精、マスターベーションについて
 - 性的衝動について
 - 胸が痛い
- 男女共通の質問
 - 赤ちゃんはどうやって生まれてくるの？
 - 友達との接し方
 - 好きな人のこと、異性との付き合い方について
 - 性感染症、避妊について
 - いじめについて

男の子の質問

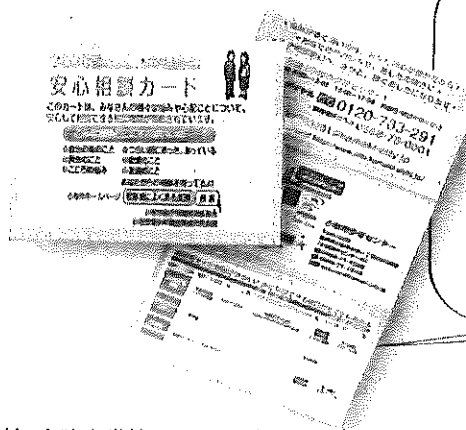
1.ペニス・包茎について

ペニスの大きさや包茎になる子もたくさんいます。大きな包茎は通人痛の原因です。また、包茎はペニスの大きさを可視化し、子供たちが学校に恥かれています。包茎を手術して通人痛を予防したいという希望は、医師が手術を勧めた場合であれば、10歳以上の子供であれば、手術を受けることができます。包茎を手術する場合は、手術を受ける前に医師と相談してください。包茎を手術する場合は、手術を受ける前に医師と相談してください。

2.夢精・マスターベーションについて

男の子の成長に伴って、夢精やマスターベーションは、多くの場合、成長している体に起こります。これは正常なことです。心配する必要はありません。また、夢精やマスターベーションは、自分で制御することはできません。マスターベーションは、自分で制御することはできません。マスターベーションは、自分で制御することはできません。マスターベーションは、自分で制御することはできません。

☆安心相談カード



1人で悩まないで誰かに相談してみよう！きっと心が軽くなるよ！

「安心相談カード」を中学校1年生の夏に配布しました。心配なことがあったときに相談できる窓口が紹介されています。身近な人に相談しにくい場合には信頼できる相談窓口がありますよ。無くしてしまった人は、保健室や児童館にカードがありますので、もらいにいきましょう！

小牧市ホームページにも「中学生と小学生のための相談窓口」として掲載されています。

問合せ
小牧市保健センター (0568)75-6471

挿絵：応時中学校ジュニア奉仕団

中学3年生のみなさんへ

昨年は、「生と性のアンケート」に協力してくださり、ありがとうございました。
アンケートの結果がまとまりましたので、報告させていただきます。

～小牧市母子保健推進協議会～



～母子保健推進協議会とは～

平成9年に設立され、学校や医療、福祉、保健などの分野で、子どもたちを応援する関係者で構成されています。そこでは、子どもたちの健やかな成長に必要な支援のあり方を考えています。

- 調査日：平成29年7月
- 対象：市立中学校2年生
- 回答数：1,314人(1,409人在籍)

～アンケート結果抜粋～

図1【自分のことで心配なことがありますか】

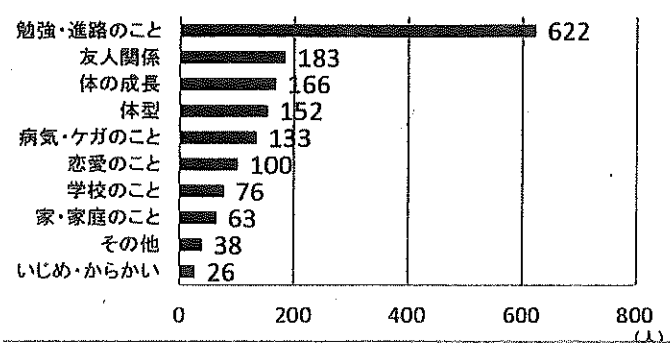


図2【自分のことで心配なことができたとき、あなたはどうしますか】

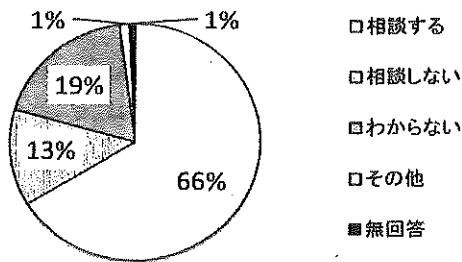
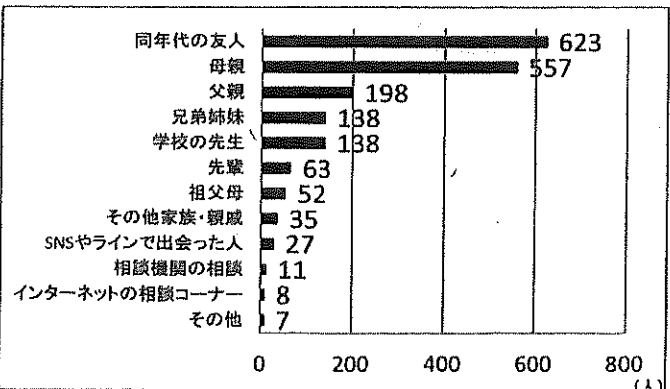


図3【自分のことで心配なことができたとき、誰に相談しますか】



●みんなどんな悩みがあるのかな？

(図1)

「勉強・進路のこと」「友人関係」「体の成長・体型」といった悩みを抱えていることが分かりました。体の変化は個人差が大きい時期です。安易に友達と比べたり、インターネットの誤った情報に振り回されないようにしましょう。

●心配なときはどうしているんだろう？

(図2、図3)

心配なことができたとき「相談する」との回答は6割にとどまっています。「こんなことを相談してもいいのかな」「相手に迷惑をかけないかな」と思い、相談をためらってしまうかもしれません。しかし、自分ひとりで悩んだり、友達同士やインターネットの相談コーナーなどでは適切に解決できないことがあります。

相談相手は「同年代の友人」が最も多く、次いで「母親」「父親」などの家族が続きます。心配事の内容によっても相談相手は異なるでしょう。身近な人に相談しにくい場合や専門機関に相談したいときは、「安心相談カード」を利用して、周囲の大人や信頼できる相談機関に相談しましょう。

●携帯電話・スマートフォンについて

(図4)

携帯電話・スマートフォンの利用時間と携帯電話・スマートフォンによるトラブルに合う危険性には関係がありそうです。スマートフォンは便利に使える反面、課金トラブルやコミュニケーションツールによる友人関係のトラブルなどの危険性があります。

また、携帯電話やスマートフォンの利用時間が長いと就寝時間も遅くなり、朝食も欠食しがちになってしまいます。朝食を規則正しく食べ、睡眠をしっかり取るという規則正しい生活リズムを身につけることが自分を大切にすることにつながります。



図4【携帯電話・スマートフォンによるトラブルの有無】と【携帯電話・スマートフォンの利用時間】に関するグラフ

